

選挙公報

安芸高田市選挙管理委員会

教育・福祉は地方から 市政に至誠を

「公約」詳細はこちら



目上の方を敬い、
接客・IT・教育の起業経験で
安芸高田市に心の活力を創る

しがらみのない立場で6町全てに活力を

「6町の魅力づくり」

吉田町 観光とベッドタウン、吉田高校や福祉施設を中心に成長できるオールマイティなまちへ	八千代 2次産業の誘致と教育文化の発展で広島市内へのベッドタウンとしての魅力を強化
美土里 神楽を中心とした伝統芸能・近代音楽の融合、ジビエ文化の発信でインバウンドを集客	高宮 自然と文化を活かした企業研修や合宿等団体客の滞在先として、体験型教育環境を強化
甲田 芸術性を活かしたサウナ施設と簡易宿泊施設を充実させ市内内外の個人客の憩いの地として	向原 向原高校を世界一のスポーツ・カルチャー校にし県内外から生徒が集まる場所へ

価値観 過去には戻さない
市政の混濁を収める
守破離でさらなる発展を

若さと経験値の高さを活かす
6町全ての特徴を活かす
絶対に付度しません

公約の 3本柱

心(技)体

けんこうでいきいきとした充実環境への投資

みんなでのびのび育む教育環境への投資

こころがわくわくする成長環境への投資



あかつ 誠一郎

無所属 44歳

プロフィール

1980年1月30日生まれ(44歳)
1998年 土浦日本大学高等学校卒業バスケットボール部所属
卒業後は校前になるために様々な職業を経験
2001年 福島県いわき市にてパブ・バーをオープン
行列のできる繁盛店に成長させ近々5店舗の経営
2008年 IT時代の到来を感じ、2年間の専門学校を経てIT企業に転職
3社で研修講師や営業部長、経営企画室室長、役員などを務める
我が子にバスケを教えるためにアメリカで指導を学ぶ
2015年 指導内容に感銘を受け、神奈川県川崎市にてバスケットスクールを設立
安芸高田市に出会い新たな火が心に灯り移住
2024年 「教育・福祉は地方から」の信念をこの地で実現することを決意



みんなで作るあきたかたの未来!!

継続と改善

- 政治の見える化を継続。
- 行財政改革の継続。
- 市役所と市民の距離の改善。
- 新しい住民自治組織の地域別再構築。
- 新たな農林業の企画。

選挙への想い。

高宮町議時代から31年間の政治経験を通して、組織選挙、しがらみの選挙では政治は変わらないと実感しました。ひとりひとりが、それぞれの判断で安芸高田市の未来を決めましょう。熊高昌三は、全力でみなさんを支え、共に歩みます。



熊高昌三プロフィール

1953年(昭和28年)安芸高田市高宮町川根生まれ。
広島県立広島工業高等学校土木科卒業。
株式会社熊高組入社。住民自治活動、PTA、福祉活動、消防団など「まちづくり」を推進する。

経歴

高宮中学校PTA会長、高宮町消防団長、川根振興協議会 企画室長
高宮町議会議員、川根柚子協同組合 代表理事組合長
江の川漁協 組合長、安芸高田市議会議員(6期)

くまたか 昌三

しょうそう 51歳

youtubeは、「森谷公昭」で検索 気軽に連絡 OK
090-8361-0522 moritanimasaaki@gmail.com

・不正なくす: 損する正義感ではだめ!(システムと教育)
河井事件より悪質! 浜田市では、職員飲酒運転もみ消しが公然と...もみ消しできる市長の権限!
副市長、総務部長、人事課長等も仲間でもみ消し! 悲マスゴミ、メディアも動かさず。「あつたともなかったとも言えない?」「あつた」ってことでしょ?.....怒これに納得する浜田市議会(二元代表制意味なし)

懲戒免職が →→ 2000万円の退職金支給...悪このお金、不正支給でしょう?
腐った浜田市役所を反面教師にして、「システムと教育」

・所得が問題を解決: 副業
(電子書籍、ネット外注、草刈りを有償に)
保育所に園児1人に...年200万円の補助がある...驚おかしいです...家庭保育には補助なし...不公平家庭保育にも100万円の補助が可能です
子供ふたりで200万円...生活がめっちゃ楽になります

・せいいし会は悪くない:
あのように行動する議員は、安芸高田市民が選んだ人です。
「言論の自由」は憲法の規定。自己責任で発言するだけ。選んだ職員や市民も「いや、あれでいい」という人は多い。それが選挙制度というものです。 ルールの範囲内ならとりあえずOKです。



「浜田市職員飲酒運転」をもみ消した久保田市長を裁く党

森谷 まさあき



森谷公昭 68才
中央大学卒
PMMビット会計を経て
電子書籍出版業
副業コンサルタント

対話からの前進! やっぱり、あったかいまち

つくりたいのは、誰も置きざりにしない、住み慣れた「ここ」での暮らしを支える「あったかい」まちです。

- ギスギスしない改革**
不安をあおるギスギスした行財政改革のやり方はまちがダメになります。じっくり対話し、違う意見もくみとり寛容で改革を実行します。
- 暮らしやすい「あったかいまち」づくり**
住み慣れた「ここ」での暮らしを、「おたがいさま」でつながり、誰も置きざりにしない「あったかいまち」をつくります。
- すくすく子育てとまなび**
子どもは社会の宝です。社会の宝を社会で育てるための制度と仕組みをつくり「子育て」と「まなび」を幅広く支援します。
- ぬくもりのふくしとシニアの底力**
誰もが住み慣れた「ここ」での暮らしを続けられるまちにします。敬意のある福祉で、すべての人が暮らしやすい安心のまちをつくります。
- がんばる産業はまちの原動力**
商工業や農林業はこのまちの原動力です。広島市に隣接した強みを活かして企業誘致を促進し、商工業や農林業を支援して元気なまちにします。



藤本悦志プロフィール

1972(昭和47)年7月 生まれ
高宮町立川根小・中卒業
広島新庄高校卒業
桃山学院大学 社会学部 卒業
H 7 高宮町役場 採用
H13 川根郵便局長 就任
H30 吉田郵便局長 就任

芸北地区郵便局長副会長
人権擁護委員
川根振興協議会事務局長
(農)かわね理事
安芸高田市PTA連合会副会長
川根小学校/高宮中学校PTA会長
広島新庄高等学校生徒会長



藤本えつし

51歳